

WG 活動報告

21: 晩期合併症とQOL

① WG メンバーリスト

| 氏名 | 所属 | 診療科 |
|--------------|--|---|
| 責任者 谷口 修一 | 国家公務員共済組合連合会 虎の門病院 | 血液内科 |
| 廣川 誠 | 秋田大学医学部附属病院 | 第三内科 |
| 山下 卓也 | 国立がん研究センター 中央病院 | 造血幹細胞移植科 |
| 藤澤 信 | 公立大学法人横浜市立大学附属市民 総合医療センター | 血液内科 |
| 森本 克 | 東海大学医学部付属病院 | 小児科・細胞移植科 |
| 堀越 泰雄 | 地方独立行政法人 静岡県立病院機構 静岡県立こども病院 | 血液腫瘍科 |
| 熱田 由子 | 名古屋大学医学部附属病院 | 造血細胞移植情報管理・生物統計学 |
| 黒澤 彩子 | 国立がん研究センター 中央病院 | 造血幹細胞移植科 |
| 井上 雅美 | 大阪府立母子保健総合医療センター | 血液・腫瘍科 |
| 河野 彰夫 | 愛知県厚生農業協同組合連合会 江南厚生病院 | 血液・腫瘍内科 |
| 田淵 健 | がん・感染症センター都立駒込病院 | 小児科 |
| 森 有紀 | 国家公務員共済組合連合会 虎の門病院 | 血液内科 |
| 石川 隆之 | 京都大学医学部附属病院 | 血液・腫瘍内科 |
| 三原 英嗣 | 愛知医科大学病院 | 血液内科 |
| 酒井 リカ | 神奈川県立がんセンター | 腫瘍内科 |
| 増田 昌人 | 琉球大学医学部附属病院 | がんセンター |
| 岡本 真一郎 | 慶應義塾大学病院 | 血液内科 |
| 磯山 恵一 | 昭和大学藤が丘病院 | 小児科 |
| 大島 久美 | 聖路加国際病院 | 血液腫瘍科 |
| 仲宗根 秀樹 | Stanford University School of Medicine | Division of Blood and Marrow Transplantation |
| 桑原 英幸 | 横浜市立大学付属市民総合医療センター | 血液内科 |
| 稲本 賢弘 | Fred Hutchinson CRC | |
| 塩原 正明 | 長野県立こども病院 | 血液腫瘍免疫科 |
| 飯田 美奈子 | 愛知医科大学 | 造血細胞移植 振興講座 |
| 石田 也寸志 | 愛媛県立中央病院 | 小児科 |
| 早川 晶 | 神戸大学大学院医学研究科内科系講座 | 小児科 |
| 瀬戸 愛花 | 名古屋第一赤十字病院 | 血液内科 |
| 初見 菜穂子 | 済生会前橋病院 | 血液内科 |
| 佐藤 篤 | 宮城県立こども病院 | 血液腫瘍科 |
| 西森 久和 | 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 | 血液・腫瘍・呼吸器内科学 |

② 2012年12月末時点で承認された研究、及び業績一覧

| | |
|--|--|
| 21-3 | 「小児長期生存例の成長障害および内分泌障害」 PI: 井上雅美 |
| 解析中 | |
| 21-4 | 「同種造血幹細胞移植における晩期死亡と死因の解析」 PI: 熱田由子 |
| 学会発表: 熱田由子 他 第74回日本血液学会学術集会(平成24年10月19日-10月21日) 国立京都国際会館 Yoshiko Atsuta et al. 2013 BMT Tandem Meetings (Feb. 13 to 17, 2013), Salt Lake City 論文業績: なし | |
| 21-5 | 「同種造血幹細胞移植後長期生存者における心疾患および血管イベントによる死亡の解析」 PI: 酒井リカ |
| 解析中 | |

③ 会議開催記録(2012年1月-12月)

| 日時 | 場所 | 会議内容 |
|--------------------------|------------------------|---|
| 2012/1/9 12:00-13:00 | 東京医科歯科大学 ファカルティラウンジ | 移植合同班会議での成人・小児QOL横断的観察研究プロトコールに対するコメントへの対応方法、および今後の作業予定についての打ち合わせがなされた。 |
| 2012/3/20 12:00-16:30 | 安保ホール(名古屋市 中村区) | 同種移植後の晩期死亡研究の初回解析結果が報告され、詳細な議論がなされた。成人・小児QOL横断的観察研究プロトコールおよび調査票の調整および議論がなされた。 |

④ メーリングリストによる意見交換(メーリングリスト開設から2012年11月末時点)

(320)回

⑤ WGの今後の活動方針・抱負など

| |
|--|
| <p>晩期合併症とQOLワーキンググループでは、TRUMP dataを用いた登録研究として移植後晩期死亡に関する研究を開始しました。膨大な死因情報の整理が終わり、今年度は二つの学会発表につながりました。TRUMPの収集項目としての、晩期合併症の情報は極めて限られています。患者QOLに関する情報収集はありません。本ワーキンググループでは、移植後長期生存患者におけるQOLの横断的研究を成人・小児それぞれ計画し、議論を重ねた上今年度研究開始に至りました(研究課題名等以下に記載)。本研究は、JSHCT臨床研究委員会でJSHCT主導研究として位置づけられましたので、多くのご施設に参加いただけるよう努力してまいります。</p> <p>【成人プロトコール】 本邦の同種造血幹細胞移植後長期生存成人患者におけるQuality of Lifeに関する調査研究 研究代表者: 日本造血細胞移植学会 晩期合併症/QOLワーキンググループ代表 国家公務員共済組合連合会虎の門病院 血液内科 谷口修一</p> <p>研究進捗管理委員会: 聖路加国際病院 血液腫瘍科 大島久美 国立がん研究センター中央病院 造血幹細胞移植科 黒澤彩子 名古屋大学大学院医学系研究科 造血細胞移植情報管理・生物統計学 熱田由子</p> <p>【小児プロトコール】 本邦の自家および同種造血幹細胞移植後長期生存小児患者におけるQuality of Lifeに関する調査研究 研究代表者: 日本造血細胞移植学会 晩期合併症/QOLワーキンググループ代表 国家公務員共済組合連合会虎の門病院 血液内科 谷口修一</p> <p>研究進捗管理委員会: 愛媛県立中央病院 小児科(聖路加国際病院 小児科) 石田也寸志 大阪府立母子保健総合医療センター 血液腫瘍科 井上雅美 神戸大学大学院 医学研究科 内科系講座小児科学 早川 晶 長野県立こども病院 血液腫瘍免疫科 塩原正明 宮城県立こども病院 血液腫瘍科 佐藤 篤</p> |
|--|